It’s　possible

都城泉ヶ丘高校男子ハンドボール情報紙
平成２０年１１月１９日
発行責任者　戸高慶三

新人大会3位！

県高校新人大会ハンドボール競技が１１月１５日～１７日の３日間の日程で綾町のてるはドームで行われました。初日、泉ヶ丘は堅さが見られ、予選リーグを１位で突破したものの２試合ともミスの多い試合でした。２日目は日向、高鍋に序盤こそ苦しんだものの、後半は速攻で点数を重ねて勝利をおさめました。３日目はまず小林工業・秀峰と対戦。完敗でしたが全国レベルを肌で感じることができました。３位決定戦では初日に戦った宮崎南と再戦。苦しい試合でしたが逆転勝ちで３位を勝ち取りました。この結果、１１月２２．２３日に都城早水体育文化センターで行われる南九州大会（日程は裏面）への出場権を獲得しました。また、来年の１月１７，１８日にてるはドームで行われる選抜大会（九州大会県予選、２位までが九州大会出場）への出場権も獲得しました。

＜試合結果＞

予選リーグ

泉ヶ丘２１（１０－　４／１１－　７）１１宮崎南

泉ヶ丘２１（１０－　３／１１－　４）　７都城西

準決勝リーグ

泉ヶ丘２４（１２－　８／１２－１１）１９日向

泉ヶ丘２６（１０－　７／１６－　９）１６高鍋

決勝トーナメント準決勝

泉ヶ丘１０（　２－１５／　８－１１）２６小林工業
秀峰

全国上位の小林との対戦。泉ヶ丘はスピードあふれる小林の攻守に圧倒され完敗。しかし、上野、山元のサイドシュート、甲斐のスタンディングシュートが光った。また、ＤＦは健闘した。

３位決定戦

泉ヶ丘２１（　９－　９／１２－　９）１８宮崎南

前半同点。後半はリードを許す苦しい展開。シュートミス、集中力欠如で追いつけない。残り１０分、ようやく上野の速攻で追いつき、山元の速攻で逆転。甲斐、外薗のシュートで引き離して辛くも勝利。